

令和4年度 生活環境部 重点施策の実施結果

達成状況
 S … 目標を上回る結果となった
 A … 目標通り達成した
 B … 達成したが課題が残っている
 C … 達成できなかった

総括	・マイナンバーの交付率は69.92%となり、カードを活用した証明書交付通数も年間合計で6,185件となりました。 ・特定健診未受診者への受診勧奨通知を9,075通発送しました。 ・環境資源ギャラリー搬入家庭系ごみの1人1日当たり排出量は424gとなり前年度実績以下となりました。 ・菊川市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の見直しを行い、後期実行計画を策定しました。 ・下水道供用区域内における下水道接続率は、81.1%となりました。 ・水道施設基幹管路の耐震化率は、54.23%の見込みとなりました。
----	---

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1	窓口サービスの向上 (市民課)	自治体DX化のキーとなるマイナンバーカードの交付率を上げるよう、マイナンバーカードを活用した行政サービスのPRや周知を図り、さらなるマイナンバーカードの交付を促進し、市民サービスの向上に取り組みます。	①マイナンバーカードの交付率を、年間8ポイント以上の上昇とします。 (令和4年3月末現在：45.29%) ②コンビニ交付発行枚数及び窓口証明書交付システム利用件数の合計件数を、年間5,100件以上にします。	A	①マイナンバーカード休日特別交付窓口の開設や出張申請・交付サービスの実施など、カードの取得促進に努めた結果、令和5年3月末時点の交付率は69.92%となり、年間で24.63ポイント上昇しました。 ②マイナンバーカード取得者の増加とコンビニ交付等の利用促進の周知により、コンビニ交付発行件数及び窓口証明書交付システムの利用件数は、年間合計で6,185件（コンビニ交付5,322件、窓口交付システム863件）となり、市民サービスの向上につながりました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
2	国民健康保険事業及び後期高齢者保険事業の健全な運営 (市民課)	健康維持のため、定期的な健康状態のチェックが大切なことから、被保険者に健康診断や人間ドックの受診を促します。また、生活習慣病予防、慢性疾患予防及び医療費の抑制のため、特定健康診査・特定保健指導を行います。	①特定健診受診率向上のため、未受診者データ分析による受診勧奨通知を、年間8,000通以上発送します。 ②高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な取り組みとして、個別的支援を20件以上、通いの場への関与を3か所以上実施します。	A	①特定健診未受診者の状況について分析を行い、ケース分類別に7パターンの受診勧奨通知を用意し、9,075通発送しました。 ②後期高齢者健康診査の結果から個別的支援の対象者を抽出し、健康づくり課と情報を共有して生活指導を21件行いました。また、通いの場のある地域の医療情報や健診情報を把握し、健康課題やフレイル状態の改善を目的とした健康指導を長寿介護課との連携のもと6箇所で行いました。
3	循環型社会の構築 (環境推進課)	大きな課題であるごみ減量については、令和4年度から令和6年度までの3か年を「市民と行政と事業者が力を合わせて更なるごみ減量に取り組む期間」と位置づけ、現状と課題の把握に努めてまいります。 循環型社会の構築に向け、令和3年度に開始した廃食用油の回収に次ぐ新たなごみ減量・リサイクル推進のための事業の検討と展開、生ごみ処理機購入費補助金の補助率と上限額の変更などの継続事業の強化と併せ、主にSNSを利用した市民及び事業者の皆さんへの情報発信の強化を図ると共に、地域の課題の解決を図るための連携の強化を進めてまいります。	環境資源ギャラリー搬入家庭系ごみの1人1日あたり排出量を前年度実績以下にします。 (令和3年度：433g/人・日)	A	令和4年度の環境資源ギャラリー搬入家庭系ごみ1人1日あたり排出量は424gとなりました。 当該年度に行った主なごみ減量施策として出前行政講座を小中学校で10回、自治会等で17回実施しました。 また、生ごみ処理機購入補助金については、補助率と上限額を変更し61件の交付を行いました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
4	地球温暖化防止 施策の実現 (環境推進課)	脱炭素社会構築に向けた取り組みについては、令和4年度から令和5年度までの期間において実施する「菊川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の見直しに加え、新たに市民と市内事業者の地球温暖化防止に向けての取り組みを定める「菊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を進める中で、2050年カーボンニュートラルに向けた施策の検討と、国のロードマップと市の施策を調整していきます。併せて地域循環共生圏の構築に向け研究・検討するとともに、「ゼロカーボンシティ宣言」の表明に向けての検討を進めていきます。	菊川市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の見直しを実施します。	A	『第3次菊川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）』を見直し、「後期実行計画」を策定しました。また菊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向け、市民ワークショップを開催し、意見収集を行いました。 2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティ宣言を令和5年2月13日に行いました。
5	生活排水対策の 推進 (下水道課)	生活環境の改善・水質向上の取り組みとして汚水処理人口の増加を図るために、第4期事業計画及び経営戦略に基づき計画的な管渠整備を実施します。下水道供用開始区域においては、下水道への早期接続を促進するため、説明会及び広報等により「早期接続促進施策」の周知、未接続世帯への通知発送及び戸別訪問を行います。 下水道区域外については、浄化槽設置事業費補助制度をチラシ配布やホームページ・広報紙等で周知し、単独処理浄化槽及び汲み取り槽からの付替えを推進していきます。	下水道接続率を前年度以上にします。 (令和3年度確定値80.8%)	A	下水道供用開始区域内においては、早期接続を促進するため、広報紙や下水道新聞による周知を行い、未接続世帯へは、通知の発送や戸別訪問に努めた結果、下水道接続率は、令和5年3月末現在で81.1%となりました。 管渠整備については、当該年度に施工を計画していた工事が完了し、下水道が使用できる区域を7.7ha拡大しました。 下水道区域外においては、浄化槽設置事業費補助金制度を周知するため、ホームページや広報紙に掲載し、チラシを配布しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
6	水道水の安定供給 (水道課)	水道水の安定供給を維持していくために強靱な水道施設づくりとして、老朽基幹管路の耐震化並びに水道施設耐震補強の計画的な実施を進めていきます。 引き続き東遠 4 市で設置する東遠広域化検討会において広域化に向けた検討を行うとともに静岡県が進める広域化推進プラン策定に向けた大井川圏域検討会(仮)において広域化の協議を進めていきます。 水道事務所の老朽化対策として、電話設備更新及び水道事務所内の L E D 化を進めていきます。	水道施設基幹管路の耐震化率を54.11%にします。 (令和 3 年度確定値 : 53.36%)	B	当該年度に施工を計画していた 8 路線の基幹管路の整備については、道路工事の進捗に伴い管路の移設工事の時期が変更となった 1 路線を除き完了しました。 水道施設基幹管路の耐震化率は、令和 5 年 3 月末現在で54.23%の見込みとなりました。